

平成31年度 杉並区立杉並第八小学校 経営計画

杉並区立杉並第八小学校
校長 黒川 雅仁

平成32年度新校開校に向け、すべての教育活動において教職員全員で指導に当たり、杉八小の児童が自信と誇りをもって新しい学校へ移行できるようにする。

そのために、小規模校の特徴を生かした教育活動を行い、基礎学力の定着と学力の向上及び人間形成をバランスよく育成する。

また、個に応じたきめ細かな教育活動を展開し、保護者・地域の期待に応える学校づくりを進めて行くことで、「共に学び共に支え 共に創る杉並の教育」の一翼を担っていく。

1 目指す学校

(1) 学校教育目標

—主体的に生きる児童の育成を目指す—

○思いやりのある子

◎よく考える子 【今年度重点目標】

○たくましい子

(2) 学校教育目標達成のための基本方針 《新校への橋渡しとして》

- ・よく考える子を今年度の重点目標とする
- ・人権教育の推進
- ・三校連携のさらなる推進
- ・学力の向上 体力の向上
- ・オリンピック・パラリンピック教育の充実
- ・特別支援教育の充実
- ・就学前教育充実のための連携
- ・社会関係資本の積極的活用

(3) 育てたい児童像

- ・心豊かで、お互いを大切にする子
- ・旺盛な意欲、豊かな学び、確かな学力を身に付ける子
- ・心身共に健康で何事も最後までやり遂げようとする子

(4) 目指す学校像

①新校開校後を見据えた学校

→ 高円寺地域の5年後10年後を見据えた学校運営

②確かな学力を身に付けられる学校

→ 小規模校の特徴を生かし個々の基礎基本を徹底させる

③達成感や成就感を味わえる授業を展開する学校

→ 「高円寺学力向上プロジェクト31」による授業の質の向上
3校での研究授業において切磋琢磨する

④思いやりの心を育む学校

→ 「高円寺インクルーシブプロジェクト31」による意識改革
教育活動の基盤に人権尊重を位置付ける

- ⑤個に応じた指導を展開する学校
 - 一人一人を大切にした授業展開・補習授業・教育相談等の充実
- ⑥生きる力を育む学校
 - ボランティア活動・キャリア教育・E S D（持続可能な開発のための教育）等の推進
- ⑦地域を愛する児童を育てる学校
 - 「高円寺コラボプロジェクト31」による更なる繋がり
地域との協働学習を通して、地域とその伝統を大切にする
- ⑧災害に対応できる学校
 - 地域と連携するとともに地域の防災拠点としての機能を高める

2 新校開校までの目標と方策

本校は来年度から、杉四小・高中と共に杉並区で二番目の施設一体型の小中一貫校として新しい学校をスタートさせる。そのため、開校に向け1年間の目標と方策を以下のように設定する。全教職員の力を結集しながら教育活動に当たり、児童に自信と誇りをもたせ、不安なく新しい学校へ移行させる。

(1)目標

新校で活躍する児童の育成 ～自身と誇りをもって～

- 杉四小及び高中と連携・協働を一層深めるとともに、交流活動や給食の喫食を新校舎で行い、新しい学校の取り組みとして形に表していく。
- 基礎基本の徹底により確かな学力を身に付けさせるとともに、基礎体力増進についても取り組み、学力・体力を共に向上させていく。
- 思いやりや人との関わりを大切にできる児童を育成するとともに、激変する社会を生き抜く力を育む。

(2)方策

- 昨年度完成させた高円寺学園教育計画を元に、三校それぞれに教育活動を行っていく。計画通りに交流活動を維持・発展させることでブラッシュアップを図り、より具体的・現実的なものに作り替えていく。
- 学校支援本部を核とした保護者・地域等の社会関係資本を、学力向上や体力向上の取り組みに積極的に取り入れる。また放課後補習授業、パワーアップ教室、土曜授業、環境教育等において、保護者・地域・学校が三位一体で児童の教育に取り組んでいく。
- 三校の合同研修会において「学力向上プロジェクト31」を推し進める。ペア学習での取り組みを中心に授業研究を行い、指導法の工夫をしていくことで授業改善を図る。また、ペア学習での効果を検証し、他教科にも活用の範囲を広げていく。
- 全教育活動の基盤に人権尊重の精神を位置付け、「インクルーシブプロジェクト31」を通して、障害理解、奉仕活動、道徳教育の充実を図り、児童の人権感覚を高揚させていく。また、キャリア教育やボランティア活動等を通して、生きる力の育成していく。
- 今年度につき、「高円寺コラボプロジェクト31」として、三校合同で地域を取り込みながら、それぞれの学校でトランスボックスラッピングを行い、メモリアルとしていく。またコラボTシャツを作成、着衣し、高円寺の地域ぐるみで活動することで繋がりを更に深めていく。

3 今年度の目標と方策

学校経営の充実を図るため、本校の状況や児童の実態を鑑み、以下の点について目標と方策を掲げ、達成を目指して実行していく。

	目標	方策
学習活動	<ul style="list-style-type: none"> 基礎基本を確実に身に付けさせ、生涯に渡って自ら学習する意欲を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人を確実に見取り、必要に応じて個別学習を充実させる。(放課後算数・パワーアップ) 学校支援本部による放課後補習教室を開催する。 対話を活用したペア学習を算数指導で深め、他の授業にも広げていく。(合同研) 3年算数を1クラス3展開で行う。
	<ul style="list-style-type: none"> 課題発見能力・解決能力・論理的思考力を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> 理科において、理科専科による専門性の高い授業を展開する。 算数においては合同研修に基づき、ペア学習の発展として課題解決学習も取り入れ、算数の楽しさや理論を理解できるようにする。
	<ul style="list-style-type: none"> 指導の効率化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ICT機器の活用を指導計画の中に位置付け、視覚的、直観的に分かりやすい授業を展開する。
	<ul style="list-style-type: none"> 論理的思考力を育てる 	<ul style="list-style-type: none"> プログラミング用教材EV3及びIPADを活用し、物事を順序立てて考えられる授業を各学年の発達段階に応じて実践する。
	<ul style="list-style-type: none"> 「生きる力」を育む。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校支援本部と協働し、高円寺地域を生かした体験的な学習活動を年間指導計画に位置づけ、実践する。(コラボプロジェクト)
	<ul style="list-style-type: none"> 基礎体力を向上させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 日頃の体育授業における運動量を十分確保する。 体育的行事委員会においてなわとび週間、持久走大会等の見直しを図り、効率よく意図的計画的に取り組む。
	<ul style="list-style-type: none"> 持続可能な社会の構成者としての資質を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本建築学会による小3から中3までを見通した指導計画の下、環境に関する授業を総合的な学習の時間を中心に行う。(三校共通で行う)
	<ul style="list-style-type: none"> 思考力・判断力・表現力を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 各教科指導においてペア・グループ学習を取り入れ、コミュニケーション能力の土台を築き、深い学びに繋げていく。
生活指導 進路指導	<ul style="list-style-type: none"> 思いやりの心や規範意識を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> 今年度の重点を「心をこめてあいさつする」とする。 生活指導四つの重点「あいさつ」「話を聞く」「時間厳守」「言葉遣い」の定着を図る。
	<ul style="list-style-type: none"> 個に応じた適切な指導を行い、一人一人の個性の伸長を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 関係諸機関と連携し、研修会や連絡会の伝達研修を実施する。 生活指導朝会において全教職員で報告・連絡・相談をすることで児童理解を深め、全校共通の指導を徹底する。

	<ul style="list-style-type: none"> • 自分にあった進路の選択ができ、よりよく生きていく力を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> • 学校支援本部を活用し、多岐にわたるキャリア教育を行う。 • 高学年を中心に高円寺地域のボランティア活動に取り組む。 • 地域行事に積極的に参加できるようアナウンスするとともにできる限り教員も参加していく。
特別活動等	<ul style="list-style-type: none"> • 児童の自尊感情を育む。 	<ul style="list-style-type: none"> • 学校行事等の取り組みにおいて児童が成就感や達成感を味わえる年間指導計画を作成し、実践する。
	<ul style="list-style-type: none"> • 高円寺地域の一員としての意識を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> • 地域行事に対して学校が地域と一体となって取り組み、参加しやすい雰囲気をつくる。 • 教員についても積極的に参加する。
	<ul style="list-style-type: none"> • リーダーシップを育む。 	<ul style="list-style-type: none"> • 小規模校の特徴を生かし、委員会活動や集会等において、高学年全員がリーダーを経験する。
学校運営	<ul style="list-style-type: none"> • 新校開校へ向け、3校の連携を一層深める。 	<ul style="list-style-type: none"> • 杉四小と富士学園浜移動教室を行う。 • 杉四小・高中の学校行事に高学年を中心に参加し、協働で創り上げていく。
	<ul style="list-style-type: none"> • 保・幼を含め、一貫性のある教育活動をおこなう。 	<ul style="list-style-type: none"> • より共通性・一貫性のある教育課程を作成し、明確化する。 • スタートカリキュラムを編成・実施する。
	<ul style="list-style-type: none"> • 学校力を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> • 報告、連絡、相談を徹底し、組織的に取り組む • 各分掌において主任が責任を持って進行管理を行い、停滞を防ぐ。 • 分掌にかかわる評価と改善点を明確にし、短いサイクルで改善を行う。
	<ul style="list-style-type: none"> • 教師力を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> • 主幹教諭による研修を実施する。 • 主任教諭が積極的にOJTを企画し、教員同士切磋琢磨する。 • 教育関係のアンテナを常に高く張り、研究と修養に生かしていく。
	<ul style="list-style-type: none"> • 保護者・地域の信頼を得る。 	<ul style="list-style-type: none"> • 学校を公開するとともに、学校評議員を中心に常に外部からの意見や要望を吸い上げ、応えていく。 • 学校支援本部や地域と学校が協働する機会を意図的に設定し、教育活動に取り入れていく。
	<ul style="list-style-type: none"> • 地域の防災拠点としての機能を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> • 震災に対応できるよう学校規模による安全点検及び安全対策を行う。 • 地域とともに防災訓練を行うことで、児童の安全意識を高める。
	<ul style="list-style-type: none"> • サービス事故を絶対に起こさない。 	<ul style="list-style-type: none"> • 教育公務員としての矜持を再確認する • 学校は、初等教育の目的を達成するための場であることを教職員が深く理解する。 • 整理整頓により個人情報管理を徹底する。 • 学期に2回以上、管理職・監督職によるサービス事故防止研修を行う。

